

耐久高等学校
令和元年度
修学旅行

修学旅行委員長を務めさせていただいた奥井咲妃です。あまり人前に立つタイプではないので、結団式やひめゆりの塔ではとても緊張しました。沖縄では和歌山とはまた違う文化や環境を楽しむことができました。平和学習では、実際に沖縄戦を体験した人の話をDVDで聞くことができ、戦争がどれほど恐ろしい出来事かを再認識しました。私たちは戦争に巻き込まれることなく、平和な生活を送ることができています。だからこそ、沖縄で起こったことを後世に伝えていくことが大切だと思いました。

(一年一組 奥井 咲妃)



高校に入って旅行委員になり、仕事が多くて大変だった。あまり戦争などに関わりのない私たちが、沖縄での戦争の話の聞き、私たちにも関係のあることなのだと思えて知ることができた。二日目、三日目はクラス別行動、タクシー班行動と沖縄を十分に満喫で

き、楽しむことができました。クラス別行動では、イルカを触り、普段触ることができないので良い経験になったと思う。そこからイルカに愛着が湧いた。三日間を通して良いクラスの仲を深めることができた。また沖縄に行きたい。

(一年二組 瀧川 純夢)



修学旅行を終えて、学校全体で行動する難しさ、そして、みんなで楽しむことができるうれしさを学びました。実際に壕や、ひめゆりの塔に行ってみて、調べていたことよりもはるかにひどい状況だったのだと知りました。とても悲しくなりました。でも、クラス体験で、沖縄の海に入ったり、おいしい物をいっぱい食べたりとても楽しめました。何もかもが良い思い出になりました。とても楽しかったです。

(一年三組 北山 未菜)



沖縄へ修学旅行に行き、ガマや戦争を体験した人の話を聞いて、戦争がどれほど酷く、悲しいものか、知ることができて良かったと思えました。二日目には、クラス別で私たちは、バナナボートとシュノーケリングの体験をして、海がきれいで和歌山の海では見れない魚を見ることができて楽しくておもしろかったです。三日目には、班別行動で、国際通りには店がたくさんあり、お土産をいっぱい買い、友達と選んだりして楽しかったです。

(一年四組 川西 柚穂)

(一年四組 鶴岡 亜美)



今回の修学旅行は私たちの人生の中で、かけがえない思い出になったのではないかと思います。戦争の悲惨さを知り、この悲劇を繰り返してはならないと強く思いました。また、沖縄ならではの体験をし、クラス間の絆がさらに深まりま

した。天気は生憎の雨や曇りでしたが、何本もの虹を見ることができました。修学旅行で学んだことも今後の高校生活に生かしていきたいと思えます。

(二年五組 三木 結加)



一日目は、平和集会で重要な役割である司会をさせていただきました。最初は戸惑いましたが、無事にやり遂げることができて良かったです。二日目のシュノーケリングでは、色鮮やかな魚たちが泳いでいる海に入り、自然の美しさを感じました。三日目は、沖縄の街並みを見ながら、班のメンバーたちと楽しい一日を過ごしました。歴史や文化、自然に触れた三日間は良い思い出になりました。この三日間を糧にして、頑張っていきたいと思えます。

(二年六組 御前 奏登)

